

第8回全国書写書道伝統文化大会
令和元年度全国学生書き初め展覧会

【大 賞】

岡山県・明誠学院高等学校2年
原田 美咲

来年度末には屏風作品も作りたい

「大賞」という名誉ある賞をいただき、大変嬉しく思います。

この度、賞をいただいた作品は、小大君が書いたとされる「香紙切」を臨書したものです。高校入学後に仮名と出会い、勉強を始めました。初めの頃は線を引くことに必死で、身勝手な字形での臨書になっていました。もちろん古筆の特徴を考えて書くことなどできていませんでした。しかし、高二の時に出品したある大会をきっかけに、古筆の特徴を正確に表現するにはどうしたら良いのかと考えながら筆を動かすようになりました。細線で右回転の多い筆運、起筆や収筆部の線の強弱、一文字一文字の字形、墨の濃淡、線の伸びや行の間の取り方など、本当に多くの課題がありますが、何度も練習し丁寧な作品作りを心掛けました。練習中は思うように筆が動かず苦勞することの方が多いですが、たまに自分の考えていることができる瞬間があります。その瞬間、成長と同時に書道の楽しさを実感し、非常にやりがいを感じております。今尚、課題の多い仮名ですが、流麗さや女性らしさを感じるそんな仮名に魅了されています。今後も古筆に忠実な練習を重ね、来年度末には香紙切を基調とした屏風作品を作りたいと思います。

この度、このような賞をいただけたのは、熱心にご指導くださる先生方をはじめ、共に切磋琢磨し合う仲間たち、家族の支えがあったからこそだと思えます。これから先も自分の好きな書道を学べることに感謝しながら、努力を惜しまず精進したいと思います。

この度は本当に有難うございました。